

※ 解答は、《解答欄》に書きなさい。

ポイント

- ・ 選んだ文章から適切な情報を得て、自分の考えをまとめる。
- ・ 仮名及び漢字の由来、特質などについて理解する。

山田さんは、妹が読んでいた次の資料に興味をもち、「日本語」についてレポートを書くことになりました。

【資料】

三世紀か四世紀ころ、日本に漢字が伝わってきました。ここから日本の文字の歴史が始まりました。最初は、次のように日本語と同じ意味をもつ漢字を並べていました。

「花開（ハナ、ヒラキ）」

この書き方の場合、意味はほぼ分かりますが、どう読むのかがはつきりしません。「ハナ、ヒラキ」とも、「ハナ、ヒライタ」とも読めます。

やがて、日本語の発音一音一音に漢字が当てられるようになりました。

「花 → 波奈（ハナ）」

と書く方法です。これで読み方がはつきりました。ところが、今度は意味が取りにくくなりました。日本人はまた考えました。そして、

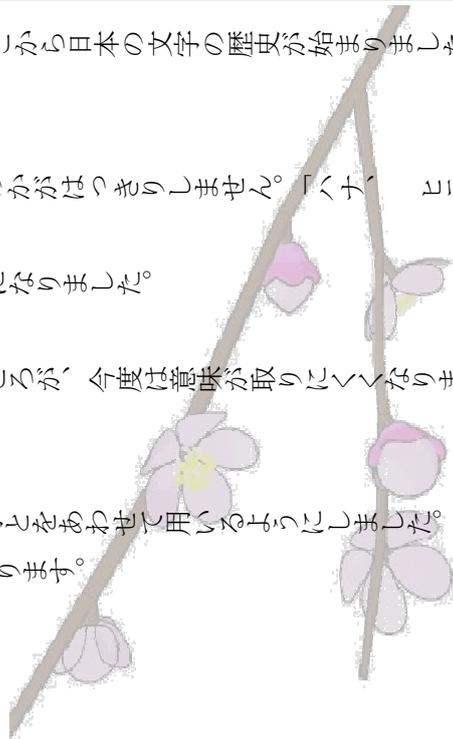
「梅之花（ウメノハナ）」

のように、意味を表す漢字と、発音だけを表す簡単な漢字とをあわせて用いるようにしました。この書き方が、平安時代の仮名文字の誕生につながったという説があります。

仮名が広まったことによつて、

「梅の花」

という現代に通じる文字の使い方が確立しました。



レポートを書く前に、日本語の知識を広げたいと考えた山田さんは、資料と関連する内容が示された、次の文章を読みました。

【文章】

私の友人である作家・評論家のロジャー・パルバースさんは、日本語を含む四か国語を自由に操る語学の達人だ。彼は近著『驚くべき日本語』（集英社インターナショナル）で、日本語こそ「世界共通語」にふさわしいと主張する。そもそも日本語は中国語と大和言葉と外来語が混在する言語なので、異なる言語を組み合わせる「省エネ」のような新たな略語を作る柔軟性をもっているというのだ。

日本語の柔軟性の根源は漢字にある。漢字は中国大陸から輸入した異文化だが、日本人はそれに古来の大和言葉の音を当てはめ、万葉仮名として表音文字のように使い始めた。①さらに崩して日本固有の文字である平仮名と片仮名を発明し、ついには②漢字仮名交じり文という日本固有の表記を完成させた。

以前、海外向け化粧品の開発に携わり、製品に添える説明書を、イタリア語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語の六か国語併記にした。同じ日本語を訳してもらったのだが、イタリア語の説明文は日本語の二、三割増しの長さになった。一方、中国語は日本語の半分ほどの長さしかなかった。（※）

中国語のような表意文字系の言語は、一字の中に、歴史的文化的背景に基づいた意味やニュアンスが込められている。(③)、同じ一字なのに「木」と「林」と「森」がビジュアルで区別され、同時に意味も把握できるのだ。

一方、表音文字系のイタリア語で詳細に意味を伝えるには、語彙を増やすしかなく、必然的に分量が増える。

直感的に意味が伝わる漢字にも、歌うように冗舌な西洋の言語にも、それぞれ長所があるはずだ。私は説明書の文字を見比べながら、日本と西欧の考え方の差は、表音文字と表意文字の差にもよるのではないかと考えた。

日本人は、千年以上にわたって表音系の「かな」と表意系の「漢字」を、読み書きの際に同時に認識してきた。そのことは、民族の特性にもなっているのではないかと。(※)

(福原義春著「六か国語の説明書」二〇一四年八月九日付朝日新聞朝刊より。(※)部分は省略有り。)

- *大和言葉…日本固有の言語。和語。
- *併記…あわせて記すこと。
- *ニュアンス…微妙な意味の違い。
- *ビジュアル…視覚に訴えるようす。
- *冗舌…口数が多いこと。

1 — 線部①について、「波」→「は」、「奈」→「な」のように、平仮名は漢字を崩して作られました。次の(1)、(2)の漢字を崩して作られた平仮名を書きなさい。

- (1) 保 (2) 女

2 — 線部②「漢字仮名交じり文」に当たるものを【資料】の線部アからウまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

3 (③)に入る言葉として最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア また イ たとえは ウ しかし エ さらに

山田さんは、調べたことを基にしてレポートをまとめました。次は、その一部です。

【レポートの一部】

1 はじめに

もしも、日本語が漢字だけだったとしたら……。

- 輪田市葉 木野羽 羽実出 阿素美真市田。

もしも、日本語が平仮名だけだったとしたら……。

- すももももももものうち

「私は、昨日、海で遊びました。」「李も桃も桃のうち」——こう表すと、意味が分かりますね。

日本語のすばらしいところは、④漢字と仮名をバランスよく用いて表記するところです。

私は、日本語の表記について詳しく調べてみました。

2 漢字の役割

学校の式典で、よく「校歌斉唱」という言葉を聞きます。あるときA君が、どういう意味だろう、と首をかしげていました。私も、「せいしよう」の意味については、よく知りませんでした。

辞書で調べてみると、「斉」には「そろそろ・そろえる」、「唱」には「うたう」という意味がありました。この二つの意味を合わせると、「斉唱」は「声をそろえて歌うこと」になります。

漢字は、平仮名と違って一字一字が意味をもちます。これを表意文字といいます。(※レポートが続く。)

4 — 線部④「漢字と仮名をバランスよく用いて表記する」とありますが、日本語には、漢字、仮名とともに、漢字や仮名以外を用いた表記もあります。その例を【レポートの一部】の中から一文で抜き出して書きなさい。ただし、1などの数字や、……、「」などの記号(符号)を用いた表記は除きます。

5 【レポートの一部】の2の内容を参考にして、「歓迎」という言葉を十字以内で説明しなさい。

シート 18 正答例

1 (1) ほ (2) め

2 ウ

3 イ

4 あるときA君が、どついつ意味だろつ、と首をかじっていました。

5 (例) よろこんで迎えること (10字)